

地域医療学 I

Community Medicine I

単位数：2単位

○熊倉俊一 教授：地域医療教育学
総合医療学講座 教授の後任

神田秀幸 教授：環境保健医学
廣瀬昌博 教授：地域医療政策学

1. 科目の教育方針

地域医療学とは、高齢化・過疎化といった地域医療の現状を見据えて、大学病院をはじめとした拠点病院と一次、二次医療機関および福祉関連施設が密に連絡しあって地域医療を展開、その展開にどのようなアプローチが存在するかを多角的にとらえることを目的とした学問である。本講義では、地域医療学の現状をとらえつつ、従来からのアプローチから先端的な研究にまでを網羅し、それが今後どのように地域医療として展開していくかということを展望させることを目的としている。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 地域医療の現状を学ぶ。
- 2) 地域福祉の現状を学ぶ。
- 3) 地域医療に必要な疫学的アプローチについて学ぶ。
- 4) 地域医療に求められる医療人材の役割について学ぶ。
- 5) 地域医療に関する研究方法について学ぶ。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 地域医療の現状とその問題点について基本的事項を説明できる。
- 2) 地域福祉の現状とその問題点について基本的事項を説明できる。
- 3) 疫学的アプローチを使って地域保健指標の評価ができる。
- 4) 地域医療における各種医療機関の役割について説明できる。
- 5) 地域医療を対象とした研究方法に関する基本的知識について説明できる。
- 6) 地域医療を対象とした研究について説明できる。

3. 教育の方法、進め方

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。

4. 成績評価の方法

プレゼンテーションの内容、討論への取り組み状況、課題レポート等について行動目標の達成度を主眼に評価する。

5. 使用テキスト・参考文献

- 1) World Health Organization. Increasing access to health workers in remote and rural areas through improved retention. Global policy recommendations. 2010.
[<http://www.who.int/entity/hrh/retention/guidelines/en/>]
- 2) Organization for Economic Cooperation and Development. OECD Factbook 2014. Economic, Environmental and Social Statistics. 2014.
[http://www.oecd-ilibrary.org/economics/oecd-factbook-2014_factbook-2014-en]
- 3) 自治医科大学監修：地域医療テキスト、医学書院、2009.
- 4) John A. Dent・Ronald M. Harden 著、鈴木康之・錦織宏監訳 相野由紀子・鈴木なおみ・足立拓也・吉村仁志編集：医学教育の理論と実践、篠原出版新社、2010.

※その他、講義ごとに資料を配布する。

6. 教育内容

回	授業内容	担 当
1	地域医療学総論	熊倉俊一
2	世界の地域医療の現状と課題	熊倉俊一
3	島根県における地域医療の現状と将来展望	熊倉俊一
4	地域医療を担う人材育成	熊倉俊一
5	地域保健医療と疫学（1）地域診断の基礎	神田秀幸
6	地域保健医療と疫学（2）地域診断の応用	神田秀幸
7	地域保健医療と疫学（3）地域診断を活用した地域医療の展開	神田秀幸
8	地域保健活動の実際	神田秀幸
9	地域医療と町創り	総合医療学講座 教授の後任
10	地域医療における病院、開業医、診療所の役割	総合医療学講座 教授の後任
11	地域医療における病病連携と病診連携	総合医療学講座 教授の後任
12	地域医療における保健・医療・福祉連携	総合医療学講座 教授の後任
13	地域医療に関する研究とその方法	廣瀬昌博
14	ビッグデータを用いた地域医療の考え方	廣瀬昌博
15	地域医療に関する研究と医療倫理	廣瀬昌博